通信教育受講のすすめ



公益財団法人 日本知的障害者福祉協会
会　長 **樋口　幸雄**

社会福祉は、人の出生前から老年期までの生涯に寄り添い、個人の人格と人権を擁護する理念を具体化し、その国の文化を体現するものです。幸福のかたちは皆違い、一人ひとりの望む暮らしは十人十色です。その人にあった暮らしを創造することが私たち対人援助職の専門性です。支援現場における日々の経験に加え、体系化された科学的知見に基づく障害の理解や、先達の優れた実践に学ぶことはそうした創造力の土台となります。

知的障害援助専門員養成通信教育は、開講から50年以上の歴史があり、本会の通信教育の中では最も歴史のある講座です。私も40年以上前に本講座を修了した一人です。現場での課題解決に役立つ最新の学術的知見に基づく理論や支援の方法について、本講座のレポート課題やスクーリングを通して学びを得られたことは、長くこの仕事を続けられた一つの礎となっています。経験を重ねた今も、学びによって自らの仕事を問い直す姿勢の大切さを感じています。

今日の支援現場では、障害の重度化や高齢化、強度行動障害や医療的ケア等、多様な生活上の課題に向き合いながら、一人ひとりの望む暮らしを支えることが求められています。その際、支援者がよいと考える暮らしと、本人が望む暮らしが一致するとは限りません。言葉で表しにくい思いにも耳を澄ませ、日々の表情や行動から意思を丁寧に確かめることが必要です。

また、手厚い支援とは、支援者が多くを担うことだけではありません。環境調整や必要な支えを保ちながら、意思決定を支援し、本人の力や選択が暮らしの中に育つよう、支援者の存在を少しずつ小さくしていく視点も大切です。

本通信講座は、これから福祉の仕事を志す方には実践の土台を築くものになり、すでに現場で働く方にとっては現場での体験を学習へとつなぎ、得られた知見を実践に戻す機会となります。仕事を始めたばかりの方も、職場の中核を担う方も、学びの出発点は日々の小さな問いにあります。学ぼうと志向する人には必ず実るものがあります。本講座で共に学んでまいりましょう。

通信教育受講のすすめ



人材育成・研修委員会
委員長 **髙橋　智秀**

公益財団法人日本知的障害者福祉協会が実施する「知的障害援助専門員養成通信教育」に関心をお寄せいただき、心より感謝申し上げます。

今日、障害福祉に対する社会的な要請は急速に高まっており、支援の現場ではこれまで以上に高度な専門性が求められています。障害のある方一人ひとりの尊厳を保障する権利擁護や意思決定支援の実践をはじめ、強度行動障害への適切な対応や、重度化・高齢化に伴う多様で複雑なニーズへの対応など、支援の現場で直面する課題は多岐にわたります。これらに的確に対応し、障害のある方が地域社会の中で自分らしく安心して豊かな生活を送れるよう支援するためには、単なる感覚や経験だけに頼るのではなく、確かなエビデンスと理論に裏付けられたスキルを獲得することが不可欠です。

本講座は、主として知的障害や発達障害のある方を支援する現場の職員の皆様に、対人援助に関する専門的知見を深め、確固たる実践力を養っていただくために開講しています。全９教科からなる体系的なカリキュラムを通じ、基礎的な概念や福祉理論、実践的な援助技術、事業所運営におけるマネジメントに至るまで、現場で役立つ幅広い知識を網羅的に学習します。テキストによる自宅学習とレポート作成、さらにオンデマンド講義の視聴を組み合わせることで、多忙な日々の業務と両立しながら自分のペースで質の高い学びを着実に深めることができます。

学びの課程で得られた新たな気づきや理論的根拠を日々の支援現場へ還元し、実践と検証を何度も重ねていくプロセスこそが、専門職としての成長の大きな糧となります。本講座での１年間の研鑽は、自らのキャリアを切り拓く力となると同時に、事業所全体における支援の質の向上や組織全体の成長にも大きく寄与するものです。

支援者としての専門性を磨き、利用者の笑顔と豊かな人生を支えていくために、ぜひ本講座に挑戦してください。志を同じくする皆様のご受講を、心より楽しみにお待ちしております。